

# いわき農林水産ニュース

(ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース)



4月号 発行 平成26年 4月25日

## 〈東日本大震災関連〉



### いわき地方の農林畜産物 モニタリング検査結果

福島県が行ったいわき地方の3月の農林畜産物の放射性セシウムモニタリング検査結果をお知らせします。

(表1) 農林畜産物の検査結果 (3月末現在)

放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数 (※表2)	放射性セシウムが検出された品目と検体数		計
	基準値内で検出された品目と検体数	基準値を超過した品目と検体数	
21品目 32検体	0品目 0検体	0品目 0検体	21品目 32検体

検査した21品目32検体のすべてが、検査機器の検出限界値以下でした。

品目は、キュウリ(施設)、トマト(施設)、ハクサイ、キャベツ、ニンジン、ホウレンソウ(施設)、ホウレンソウ(露地)、ダイコン、カブ(施設)、ブロッコリー、サツマイモ、葉タマネギ、葉ダイコン、葉ニンニク、カラシナ、菌床しいたけ(施設)、菌床なめこ(施設)、エリンギ(施設)、原乳、豚肉、牛肉です。

(表2) 放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数

キュウリ(施設) 2、トマト(施設) 3、ハクサイ 1、 キャベツ 1、ニンジン 1、ホウレンソウ(施設) 2、 ホウレンソウ(露地) 1、ダイコン 1、カブ(施設) 1、 ブロッコリー 1、サツマイモ 1、葉タマネギ 1、 葉ダイコン 1、葉ニンニク 1、カラシナ 1、 菌床しいたけ(施設) 2、菌床なめこ(施設) 2、 エリンギ(施設) 1、原乳 5、豚肉 1、牛肉 2
--

3月31日現在、いわき地方産で出荷が制限されている農林水産物は、表3のとおりです。

(表3) 出荷制限及び出荷自粛品目 (3月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	野菜・根菜・芋類	無
	果物	ユズ
	穀類	クリ
	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらのめ(野生のものに限る。)、わらび、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ
出荷自粛	畜産物	無
	山菜	さんしょう(野生のものに限る。)

また、昨年に引き続き平成25年産米の全袋検査を実施しており、3月末までの検査点数558,017点のうち、99.96%の557,774点が測定機器の測定下限値未満、243点が基準値内であり、基準値を超過したものはありません。

(表4) 玄米(平成25年産)検査状況(3月末現在)

	測定下限値未満(<25)	25 > 50	51 > 75	76 > 100	100超	計
検査点数(点)	557,774	240	2	1	-	558,017
割合(%)	99.96	0.04	0.00	0.00	-	100.00

(列単位:  $\mu$ ケル/kg)

調査結果は、福島県のホームページ「ふくしま新発売。」の農林水産物モニタリング情報、平成24・25年産米については、「ふくしまの恵み安全対策協議会」で簡単に検索できますので、結果をご確認ください。



## イノシシ被害から大事な農作物を守るために

3月12日（水）、平成25年度第2回いわき地方有害鳥獣被害防止対策会議を開催しました。

いわき地方はイノシシの被害が多く、特に水稲で最も多く発生しています。近年は、電気柵の設置など侵入防止対策が進められていますが、その一方で、未対策農地の被害の拡大や誤った設置方法による被害の発生が確認されています。

会議では、平成26年度に取り組むべき課題や、部署ごとの明確な役割を話し合うなど、効果的な被害防止対策の実施に向けた連携体制整備の確認を行いました。

農業者の皆様は、農地へのイノシシ侵入を防ぐため、田植え後速やかに電気柵を設置するとともに、こまめな除草管理により漏電防止を心がけてください。



（イノシシ対策について話し合いました）



## いわきの林業振興促進へ 栃木県へ先進地視察

3月18日（火）、磐城流域いわき地区林業活性化センター主催による、地域材の安定供給と利用拡大を図ることを目的とした木材安定供給先進地視察が行われ、いわき市内の素材生産事業者や森林組合、流通業者等15名が参加しました。

視察先は、栃木県にある国内有数の国産材消費量を誇る製材会社の（株）トーセンと、それら製材工場をはじめとして地域の工場への木材の安定供給に取り組む栃木県森林組合連合会大田原共販所です。

参加者からは、良質材から製材品には適さない曲り材や短尺材まで、無駄なくフル活用する取り組みに対する高い関心が寄せられました。今回の視察が、今後のいわき管内の林業・木材産業の振興にもつながることが期待されます。



（国内有数の製材工場を見学する参加者）



（いわきの林業振興につなげます）



## 保温で霜害なくせ 地方防霜対策本部設置

4月4日（金）、いわき地方防霜対策会議を開催し、いわき地方防霜対策本部を設置しました。会議では、遅霜による農作物被害の未然防止と霜害発生時の被害軽減対策について検討しました。

霜害の未然防止対策として、水稲には田植え後の幼苗の深水管理、露地栽培の野菜類や切り花類には育苗期や定植間もない幼苗期の保温管理が重要です。

また、いわき地方の主力果樹である日本なしは、4月中旬に開花し、最も低温に弱い生育ステージとなるため、特に注意が必要です。防霜資材の準備、草刈りによる地温上昇、かん水による保温等の実施に努めましょう。

今年も実りの多い年となるよう、関係機関団体が連携して防霜対策に当たります。



(対策本部の看板を掲げる松本所長（写真右）、伊東農業振興普及部長（写真左））



## 森林のパトロールを行います 森林保全巡視員委嘱状交付式

4月4日（金）、森林保全巡視員委嘱状交付式が県いわき合同庁舎で行われ、松本いわき農林事務所長より新任2名を含む9名の方に委嘱状が交付されました。

森林保全巡視員は、担当する区域ごとに保安林や県営林を対象に巡視活動を1年間行います。

年間を通じ、入山者などに対する山火事防止やゴミの持ち帰りの指導を始め、森林の被害や病虫害の発見、無許可の伐採や誤伐の防止など、良好な森林環境の維持を図るための重要な役割を担います。



(松本所長より委嘱状を交付される巡視員)

## いわき農林事務所からのお知らせ

○ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧

2 イベント情報

3 農林水産物モニタリング情報

(1)モニタリング情報検索

(2)出荷制限等一覧表



「東日本大震災」  
及び「原発事故」からの  
復興のために！

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地

(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>

いわき農林水産ニュース

